

No
83

2026年1月
広報誌



社会医療法人康和会

札幌しらかば台病院

しらかばの風

治し、支える医療で
地域に安心を

内容一覧

- 【年頭のご挨拶】 康和会 理事長 加藤 康夫
- 【新任・人事のご紹介】 脳神経内科 津田 笑子（札幌しらかば台病院）
- 【特集】 胃がん検診～胃カメラとバリウムどちらを選ぶ？
- 【知っておきたい医療・健康情報】 ノロウイルス感染を防ぐために
- 【この部署・こんなお仕事】 医療機器のスペシャリスト～臨床工学技士～
- 【トピックス】 2025年康和会研究発表会／東月寒 童夢セーフティフェスタ／交通安全街頭啓発
第22回 北海道胃腸研究会／第13回健康フェア東月寒／元気の会～敬老会

お知らせ

●マイナンバーカードのご利用について

これまでの健康保険証は、令和6年12月2日よりマイナンバーカードにかわりしました。今後は、病院や薬局でマイナンバーカード（※マイナ保険証未登録の方は資格確認書）を保険証としてお使いいただけます。安心してご利用いただけるよう、ご準備をお願いいたします。

●面会について

2025年6月5日より面会は予約不要となりました。面会時間は平日・土曜・日曜・祝日ともに14:00～17:30までです。1階受付横の記入場所で「面会記録」へお名前等をご記入下さい。

●人間ドックについて

2025年8月1日より内容・料金の見直しを行い、よりご利用いただきやすいプランとなりました。各種オプションもご用意しています。申し込みは病院健診担当（電話・受付）、またはホームページをご確認ください。

●新型コロナ・インフルエンザワクチン接種について

新型コロナワクチン：予約制・定期接種（65歳以上）7,800円、任意接種 16,500円
インフルエンザワクチン：予約不要・定期接種（65歳以上）1,400円、任意接種 3,850円

※新型コロナワクチン接種のご予約は、窓口またはお電話にて承っております。

※インフルエンザワクチン接種の期間は1/31迄となります。

健診・ワクチン接種のご予約はこちらから ➡ ☎011-852-8866

年頭のご挨拶

社会医療法人 康和会
理事長 加藤 康夫



明けましておめでとうございます。

なのですが、年が改まっても色々な感染症が相変わらず次々と襲ってきています。インフルエンザは1ヶ月前倒しで流行し、新型コロナ、マイコプラズマも蔓延しています。くれぐれもご用心ください。私たちはこれに対し徹底した対策を講じています。

また、医療分野におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）は徐々に進んでいます。皆さんの益になることは積極的に取り入れて、今後も推進してまいります。保険証は、従来のものの新規発行が停止され、マイナ保険証に移行しましたが、対応の難しい場合は私どもにお問い合わせください。

すでにマスメディアで頻回に報道されていますように、全国の医療機関は経営の危機に瀕しています。病院の7割が赤字で、介護施設の倒産も相次いでおり、地域医療は崩壊の寸前にあります。物価高騰、人件費上昇の中、公定価格である診療報酬（収入）改定率はここ10年間、実質マイナスでした。しかし、私たちは医療・介護の質を低下させることなく安心をお届けすることを使命としています。

今年の干支は丙午（ひのえうま）で、「情熱と行動力で突き進む」、「燃え盛るようなエネルギーで道を切り開く」年です。私たちは引き続き、地域の方々のために全力を尽くしてまいります。

今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

新任・人事のご紹介

札幌しらかば台病院

脳神経内科部長 津田 笑子

2021年 国立病院機構箱根病院

2025年 現職



はじめまして、そして、お久しぶりです。2025年9月より約4年半ぶりに札幌しらかば台病院に勤務させていただいている脳神経内科 津田笑子と申します。

ほとんどが初めてお会いする患者さんですが、時に数年ぶりにお会いする患者さんもいて新たな出会いと懐かしい再会の日々に感謝をしています。前任地は雪が積もらない地域でしたので真っ白な雪とともに過ごす冬も懐かしく時間を忘れて雪が降り積もるのを眺めることも度々です。

脳神経内科は、神経や筋肉の病気を対象とします。物忘れや手足のしびれ感、歩行障害など症状は多岐に渡ります。神経は大きく分けて骨に囲まれたスペースにおさまっている脳や脊髄といった中枢神経と手足の隅々まで広がる末梢神経に分かれます。中枢神経は画像で調べることが多いですが、末梢神経は細く全身に広がっているので画像で異常をとらえにくく、神経伝導検査で評価をします。

神経伝導検査は名前に表されているように「神経がうまく伝わっているかどうかをみる検査」です。手足を動かす運動の神経やしびれにつながる感覚の神経を調べることができます。弱い電気を使用しますので時に痛みを感じられる方もいらっしゃると思いますが、痛みを軽減する工夫を行って検査を行っています。痛みで検査ができない方はほとんどいませんので、しびれや脱力でお困りの方はご相談ください。

再びこの地域で皆様が健やかに暮らすことに少しでも貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

特集

胃がん検診

～胃カメラとバリウムどちらを選ぶ？～



胃がん検診のポイント

- 胃がんは身近な病気
- 早期発見が何より大切
- 胃がん検診は 50 歳以上を対象に 2 年に 1 回
- 検査は「胃バリウム」または「胃カメラ」から選択
- 胃カメラ検診の利点
 - ・ 胃がん発見率が高く、早期のがんも見つけやすい
 - ・ その場で生検（組織検査）ができる
 - ・ 胃バリウムで「要精密検査」となると、結局胃カメラが必要（二度手間）
- 「鼻から」の経鼻内視鏡がおすすめ（吐き気が少ない）
- 鼻が通りにくい場合は、「口から」で鎮静剤の使用も可能
- 鎮静剤を使う場合は、検査後の運転は禁止



札幌しらかば台病院
院長 後藤 啓

日本人の死因で最も多いのは「がん」です。その中でも胃がんは、死亡数で第4位、新たに診断される数では第3位となっています。生涯で胃がんと診断される人は、男性で11人に1人、女性で24人に1人とされ、決して珍しくない身近な病気のひとつです。

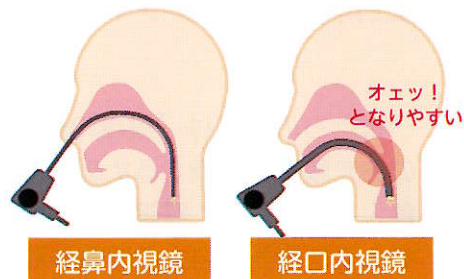
がんで亡くならないためには、早期発見が何より大切です。胃がんでは、早期（病期Ⅰ）にみつければ5年生存率は90%以上で、検診を受けることで死亡リスクが約40%下がるとされています。

胃がん検診は、50歳以上を対象に2年に1回の受診が勧められています。検査方法は「胃バリウム」か「胃カメラ」から選べます。

胃カメラは、バリウム検査に比べて胃がんの発見率が約2倍高く、見つかるがんも早期のものが多いのが特徴です。さらに、異常があればその場で生検（せいけん：組織を採ってがんかどうかを調べる検査）ができるのも利点です。一方、**バリウム検査**では生検ができないため、「要精密検査」となった場合は改めて胃カメラを受ける必要があります。生検には別途費用がかかりますが検診時に「生検を希望しますか」と尋ねられた際は、特別な理由がなければ「必要に応じて生検を希望する」と答えておくことをおすすめします。また、「血液をさらさらにする薬」を飲んでいる方は、生検ができない場合がありますので、事前にご相談ください。

「胃カメラは苦しい」という印象を持つ方も少なくありません。のどを通るとき「オエッ」という不快感や、過去のつらい経験があるかもしれません。しかし最近では、経鼻内視鏡（けいびないしきょう）や鎮静剤（ちんせいざい）を使った内視鏡により、ずっと楽に受けられるようになってきました。経鼻内視鏡は、細いカメラ（約5mm）を鼻から入れるため、のどに触れず吐き気が少ないのが特徴です。「鼻から」の唯一の欠点は、「鼻腔が狭くて通らない人がいる」ことです。この場合でも、同じ細いカメラを口から入れれば、従来より楽に受けられます。緊張しやすい方や吐き気が強い方は、鎮静剤（軽い眠り薬）を使って「うとうとした状態」で検査を受けられます。完全に眠るわけではありませんが、苦痛を感じにくくなります。鎮静剤を使う場合は、検査後に病院で1～2時間の休憩が必要です。当日の車や自転車の運転はできません。また、使用には別途費用がかかります。高齢の方や持病のある方は、事前に医師にご確認ください。「つらい検査」というイメージにとらわれず、安心してご相談ください。

胃がん検診は、市町村が実施する公費助成の「がん検診」（自己負担3,200～3,500円ほど）のほか、職場の健康診断に追加する職域検診や人間ドックとしても受けられます。この機会にぜひお問い合わせください。ご予約は窓口またはお電話（011-852-8866）にて承っております。



家庭でできるノロウイルス対策



ノロウイルスは感染力が非常に強く、冬から春にかけて流行する食中毒や感染性胃腸炎の原因ウイルスです。これからの時期は、家庭内での予防と拡大防止が重要となります。

感染の拡がり方

- ① 生食や加熱が不十分な食材の摂食
- ② 感染者の手を介した食品の汚染
- ③ ノロウイルスで汚染された、調理器具の使用や環境への接触
- ④ 感染者の嘔吐物や便の飛散物を吸い込む



主な症状

突然の激しい吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱など。通常は 1～2 日で回復しますが、乳幼児や高齢な方は重症化することもあります。症状が治まっても 1 週間～1 カ月近くウイルスを排出し、感染の原因となることがあります。

ノロウイルス対策

- ① **手洗いの徹底**：アルコール消毒が効きにくいので、トイレの後や調理・食事前には、石鹸と流水による手洗いを 30 秒以上行いましょう。
- ② **食品の取り扱い**：生食には十分に注意し、二枚貝（かき、あさりなど）のような食材は中心部までしっかり加熱（中心温度が 85～90℃で 90 秒以上）しましょう。生野菜はよく洗い、肉・魚類とまな板は別にしましょう。
- ③ **ご家庭で感染者が出た場合**：タオルや食器の共有は避け、嘔吐物や便の処理を適切に行いましょう。嘔吐物は使い捨てマスクと手袋を着用し、乾く前に静かにペーパータオルで拭き取り、塩素系漂白剤※1（家庭用ハイターなど）を薄めて（0.1%※2）床などの汚染部分や周囲を消毒します。拭き取ったものはビニール袋に密閉して廃棄してください。トイレでは蓋をしてから流し、こまめに清掃しましょう。

※1 塩素系漂白剤については、お持ちの製品の使用上の注意をよく読み十分注意してお取り扱いください。

※2 0.1%の希釈液を作るには、購入から 3 カ月以内の濃度 6%の塩素系漂白剤を使用する場合、水 3 リットルにキャップ約 2 杯（50ml）が目安となります。



感染管理部



この部署・こんなお仕事

医療機器のスペシャリスト ～臨床工学技士～

臨床工学科 谷道 正義



私たちの仕事は「機器の運転手」であり「整備士」です。病院には、患者様の命を救い、治療するためにたくさんの医療機器があります。たとえば、

- 人工透析装置：腎臓の機能が低下した患者様の血液をきれいにする機器
- 人工呼吸器：自力で呼吸が難しくなった患者様の呼吸をサポートする機器
- 除細動器：心臓の動きに異常があった時に、電気ショックで治療する機器

私たちの主な役割は、これらの機器を正しく安全に使用することです。

外来や病室、手術室などで医師や看護師と協力しながら、機器を操作し、治療をサポートし、いざという時に機器が最良の状態で動くよう、日々の点検や修理を行い、メンテナンスしています。定期的に講習会を開いて使用方法を指導したりもしています。私たちは皆さまが安心して治療が受けられるよう、医療機器を通じて患者様の命を守っています。医療機器について心配なことや疑問に思うことがあれば、お気軽にご相談ください。

トピックス

康 和 会

❖ 2025 年康和会研究発表会 10/25 業務の質向上をめざして

年に一度、法人職員による日頃の業務に関する研究成果を発表し共有する場として、今年は 250 名が参加し、14 演題の発表がありました。演者による発表後は質疑応答に対応し職員間で知識を共有できる有意義な時間となり、今回はその中から 3 部署が表彰となりました。開催場所：北海道経済センター



最優秀賞：「認知症マフを導入した効果について 作業療法士の視点からの考察」

札幌しらかば台病院 リハビリテーション科 演者：斉藤 みのり

優秀賞：「中心ライン関連血流感染対策 CLABSI 感染率低減に向けた 5 年間の取り組み」

札幌しらかば台篠路病院 感染管理部 演者：佐々木 恵

優秀賞：「環境整備強化を目的とした 5S 活動と定時清掃の効果検証 リンクチーム活動としての実践報告」 札幌しらかば台病院 リンクチーム会 演者：富永 美樹

❖ 東月寒 童夢セーフティフェスタ 9/9

東月寒まちづくり協議会「童夢」主催の「セーフティフェスタ 2025」に参加しました。当日は約 380 名の小・中学生が参加し、防災への心構えや身を守る知識を学びました。会場では、自衛隊・警察署・消防署をはじめ、多くの地域企業や団体が協力し、当法人からは「車いす自走体験」ができるブースを開設し多くの子供たちが初の車いすの大変さを経験しました。これからも地域医療の一員として、地域の皆さまの安全と健康を支える活動に積極的に取り組んでまいります。



❖ 交通安全街頭啓発 10/8

安全なまちづくりのために

10 月 8 日に国道 36 号線で東月寒まちづくり協議会主催の「交通安全街頭啓発」が行われ、当法人職員 6 名が参加しました。交通パレードには当院車両の救急車両も加わり、東月寒町内会連合の方々や近隣企業の方など約 1000 人が沿道で旗を振り交通安全を呼びかけました。



しらかば台病院

❖ 第 22 回 北海道胃瘻研究会 11/15

2025 年 11 月 15 日、「第 22 回 北海道胃瘻研究会」が開催され、当院副院長の見田裕章先生が会長を務めました。ワークショップでは半固形化栄養について多職種で意見を交わし、特別講演も含め、参加者にとって有意義な時間となりました。多くの皆さまにご参加いただき、盛会のうちに終了いたしました。ご協力いただきました関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

左：副院長 見田 裕章



❖ 第 13 回健康フェア東月寒 10/11

地域への出張講座を開催

「鍛えて防ぐ誤嚥性肺炎」をテーマに東月寒地区センターで当院職員による講演を行いました。地域にお住まいの方約 45 名がご参加いただき、誤嚥を防ぐためのトレーニング方法や、日常生活での注意点について、実際に体を動かしながら分かりやすくお伝えしました。◆最近、ご自身の飲み込みが気になる方は、説明動画もございますので、こちらの QR コードからご覧ください。



説明動画

リハビリテーション科 言語聴覚士 佐々木 恵里子

❖ 元気の会～敬老会 9/10

三味線演奏会を開催

入院患者様に楽しんでもらえるよう、院内で職員による「三味線演奏会」を開催しました。この演奏会は、当院の「元気の会」が主催する敬老会イベントの一環として行われ、職員が心を込めて患者様へ演奏を披露いたしました。力強くも優しい三味線の音色が会場に響き渡り、童謡から歌謡曲まで幅広い年代の曲が披露されました。参加された皆様の笑顔や拍手があふれ、心温まるひとときを過ごしていただきました。



リハビリテーション科 北沼 真紅

社会医療法人康和会 事業所案内

病院



札幌しらかば台病院

札幌市豊平区月寒東2条18丁目7番26号
TEL (011) 852-8866



- ・内科・消化器内科・脳神経内科
- ・循環器内科・整形外科
- ・リハビリテーション科

- ・内視鏡検査（胃、大腸）
- ・胃がん・大腸がん検診・各種健診・人間ドック
- ・CT・MRI・超音波検査（心臓、腹部、下肢、頸動脈）
- ・動脈硬化検査・骨密度検査
- ・各種ワクチン



札幌しらかば台篠路病院

札幌市北区篠路5条8丁目2番1号
TEL (011) 773-0711



- ・内科・消化器内科
- ・リハビリテーション科

- ・内視鏡検査（胃、大腸）
- ・胃がん・大腸がん検診・各種健診
- ・CT・超音波検査（心臓、腹部、下肢、頸動脈）
- ・動脈硬化検査・骨密度検査
- ・各種ワクチン

※健診、ワクチン等の費用は、病院により異なる場合があります。詳しくは、各病院の窓口にお問い合わせください。

介護事業所



サービス付き高齢者向け住宅 しらかばの社

札幌市豊平区月寒東3条18丁目20番48号
TEL (011) 826-5660



東月寒総合在宅ケアセンター

札幌市豊平区月寒東3条18丁目20番48号

- 複合型居宅介護しらかば TEL (011) 826-5565
- 24時間訪問介護看護しらかば TEL (011) 826-5516
- 訪問看護ステーションしらかば TEL (011) 852-8816
- デイサービスセンターしらかば TEL (011) 826-5520
- ヘルパーステーションしらかば TEL (011) 826-5590
- ケアプランセンターしらかば TEL (011) 852-8815
- 介護予防センター東月寒・福住 TEL (011) 852-8830

保育園



こどもクラブしらかば

札幌市豊平区月寒東3条18丁目20番48号
TEL (011) 799-1444



基本理念

心のこもった医療
学ぶ心
社会への貢献

基本方針

- 患者さま一人一人の権利を尊重し、最善の医療を展開します。
- 急性期から慢性期、外来・在宅から入院までの一貫した医療を実践します。
- 各医療施設や地域の方々と連携した医療を進めます。
- 広く社会貢献に取り組みます。
- 最新の知識の習得と臨床研究・発表を続けます。
- 健全な経営に努めます。

